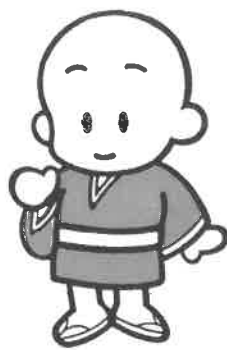


円心くんの



まちの
話 題

たくさんさんの思い出ありがとう

上郡中248名の旅立ち



一人ひとりに卒業証書が手渡されました

三月十三日(金)、上郡中学校で平成九年度卒業証書授与式が行われ、男子百二十三人、女子百二十五人の合計二百四十八人に卒業証書が手渡されました。



元気いっぱい校門を後にし出発しました

祭、部活動など、三年間で培った思い出を励みに、新しい世界へ第一歩を踏み出します」と、お札と決意が述べられ、感動に包まれた卒業式となりました。いよいよお別れを迎え、卒業生たちは、恩師や在校生、保護者に見送られながら校門を後にし、希望に輝く未来へと巣立っていきました。

上高放送部、文部大臣賞を受賞

創作ラジオドラマコンテスト

このたび、上郡高校の放送部(三浦佐智部長・二年)が、KBS京都創作ラジオドラマ部門

コンテストで最優秀文部大臣賞を受賞し、三月二十四日の式典(京都市)で表彰されました。



受賞を喜ぶ放送部のみなさん

が怖い、家の中では小回りがきかない」と意外な返事が返ってきた。そして、使う人の立場まで考えつかなかったボランティア活動の盲点を反省し、今後のボランティアのあり方を問題提議する」というドキュメントで、取材を重ねるうちに、本質を見抜き、問題意識を深める高校生らしい内容に仕上がっています。

集と進められ、九月に応募し、近畿、北陸地方の計六十六件の応募作品のなかで一番に輝きました。受賞の報を聞いた三浦さんは、「やった、信じられない」と先生と抱き合い、部員ともどもに喜んだと言います。また、同部は平成七年度にも同賞を受賞しており、昨年には県高校総合文化祭放送文化部門でも金賞を獲得。今夏の全国大会へ県代表校として出場することが決定しています。そのほかNHK杯全国コンクールへの応募にも取り組んでおり、大忙しの毎日を過ごしています。

受賞作品は、「落とし穴」と題した十一分の番組。『生徒会活動で手動式の車イスを贈呈したお年寄りの喜びの声を取材。その際、今後電動式を贈る計画を伝え、もつと喜んでもらえるものと期待したところ、「操作

歌をとおして思い出を振り返る

赤松地区老人大学の閉級式

三月、町内各地区の老人大学で、一年間の学習を締めくくる閉級式が開かれました。三月六日(金)、赤松学園では、由田五千雄さん(井上)を講師に招き、明治・大正・昭和の歴史を追いながら、当時の世相や流行った歌が解説され、みんな時代背景を思い浮かべながら歌い合いました。



歌の解説を聞き、全員で歌いました

参加者のなかには、当時の思い出を回顧し、苦勞をなつかしがったり、また、涙する光景も見られました。用意されたテキストは、太政奉還から日清・日露戦争、暮らしたの様子、世界大戦、戦後復興などの出来事を年表風に記し、

郵便局で住民票等が請求できる

「住民票等郵送サービス」調印式

四月一日から各地区の郵便局を通じて、戸籍謄(抄)本と住民票が請求できることになりました。



町長と各郵便局長とで調印が取り交わされました

三月二十七日(金)には、役場と町内各郵便局とで「住民票等郵送サービス」の調印式が行われ、大和上郡郵便局長から「地域に親しまれる郵便局として、今後も数々の住民福祉の施策を実施していきたい」と、また福井町長からも「郵便行政と一体となつて地域福祉の向上に尽くしたい」と、それぞれあいさつが述べられた後、調印が取り交わされました。

スプリングエイトを火災から守れ

テクノで3町消防団が合同訓練

三月二十二日(日)、播磨科学公園都市で、上郡、新宮、三日目の三町合同の消防訓練が行われました。

新都市で発生する火災等の災害への対応、消防の応援体制づくりと円滑な現場活動を目的としたもので、当日、大型放射光施設内の管理棟から出火。山林に延焼する大火災が想定され、

総勢百八十名の人員が参加。そして、昨年、新都市分署に配備されたはしご車を含め消防・救急車両十七台が出動する大規模な訓練となりました。

本町からは、赤穂市消防署上郡分署、新都市分署職員と上郡、駅前、山野里、野桑、金出地の各分団員が参加。ホース延長など機敏な動作で、日ごろの訓練



建物や山林への延焼を防ぐ一斉放水

の成果を發揮しました。

住民票、戸籍謄本・抄本の請求の手順

1. 郵便局の窓口に着いている交付申請書に、必要事項を記入・押印してください。
2. 手数料(定額小為替)と切手を貼った返信用封筒を同封して投函してください。
3. 3~4日後に申請者の自宅に郵送されます。

※申請にかかる費用

- 手数料(1通につき)
- ・戸籍謄本、抄本…450円
- ・住民票の写し…200円(同一世帯4人毎に200円増)
- 郵送料(送料及び返信用切手)

